

2022年9月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1 17:30 英国製造業購買部協会景気指数 21:30 米国失業保険申請件数 23:00 ISM製造業景況指数	2 21:30 米国非農業部門雇用者数 21:30 米国失業率	3 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグカウント 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグ稼働数 04:30 CFTC原油ネットポジション
4	5 19:00 OPEC会議	6 13:30 豪準備銀行政策金利発表 23:00 ISM非製造業指数	7 05:30 API週間原油在庫 18:00 ユーロ圏第2四半期GDP	8 01:00 EIA短期エネルギー見通し 08:50 日本第2四半期GDP 21:15 ECB政策金利発表 21:30 米国失業保険申請件数	9 00:00 EIA原油在庫量	10 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグカウント 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグ稼働数 04:30 CFTC原油ネットポジション
11	12	13 20:00 OPEC月報 21:30 米国消費者物価指数	14 未定 IEA月報 21:30 米国生産者物価指数	15 21:00 BOE政策金利発表 21:30 米国小売売上高 21:30 フィラデルフィア連銀製造業景気指数 21:30 ニューヨーク連銀製造業景気指数	16 11:00 中国鉱工業生産 15:00 英国小売売上高 18:00 ユーロ圏消費者物価指数	17 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグカウント 02:00 ベーカー・ヒューズ社のリグ稼働数 04:30 CFTC原油ネットポジション
		メモ ・8月後半の原油価格は、米国の原油・製品在庫の減少したこと、FOMCが利上げペースの減速を示唆したこと、米国の経済指標が好調であったこと等から続伸した。 ・その後、イラン産原油の輸出再開の可能性示唆され、一旦は下落したもののサウジのエネルギー相がOPECによる原油減産示唆したため急伸した。 ・上述の通りFOMC利上げペース減速するとの観測もあるが、引き続きインフレ抑制に動くこと、ドライブシーズン終了に伴う需要減少が見込まれることから上値抑えられる展開も予想される。 ・しかしながら、タイトな原油需給環境は続くとの見方もあり、OPECプラスの動向には引き続き注視していきたい。まずは5日に予定されているOPECプラスの会合が今後を占う重要なポイントに。				